

令和6年度国際観光専門学校名古屋校自己点検・評価報告書

1. 学校の教育目標

3つの教育理念:「人間教育」・「実践教育」・「国際人教育」

3つの信頼の獲得:「学生」・「保護者」・「社会」

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1) 留学生教育の推進

* コロナ禍の終息により、留学生の増加がみられ、インバウンドの増加により、観光業界も求人増加が見られる。留学生中心の教育を展開していく。

2) 職員間の連携を強化

* 職員間の連携を強化し、ワンチームとして目標達成を図る。

3) 出席率管理の徹底

* 出席率管理が留学生管理の基本である。

4) 留学生の日本語能力を高める。

5) 校内美化を継続して推進する。

* まず、整理整頓から

6) 就職に強い学校の実現

* 就職率100%を目標とし、学生の将来像を見据えた教育を行う。

3. 評価基準

適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
4	3	2	1

4. 評価項目の達成および取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	評価
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
・学校における職業教育の特色は何か	4
・社会経済のニーズ等をふまえた学校の将来構想を抱いているか	4
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

① 課題

学校の理念・目的などを留学生にどのように周知をするか。

② 今後の改善方策

体験入学、オリエンテーションなどの場で学校の理念を周知していく。

③ 特記事項

(2) 学校運営

評価項目	評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
・情報システム化による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

情報システムの活用

② 今後の改善方策

情報共有により、業務を効率化する。

③ 特記事項

(3) 教育活動

評価項目	評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	4
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

留学生に対して、日本文化や、習慣、礼儀作法をどのように理解、習得させるか。
そのうえでどのように専門知識、技能を身に着けさせるか。

② 今後の改善方策

すべての授業で日本を理解させる教育を行う。

③ 特記事項

(4) 学修成果

評価項目	評価
・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	3
・退学率の低減が図られているか	3
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

退学率の低減

② 今後の改善方策

出席管理を徹底し、学生個々の状況を把握する。

③ 特記事項

(5) 学生支援

評価項目	評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
・学生の生活環境への支援は行われているか	3
・保護者と適切に連携しているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	2
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2

① 課題

留学生が中心となっているため、卒業生への支援は難しい。

② 今後の改善方策

卒業生ネットワークの構築に取り組む。

③ 特記事項

(6) 教育環境

評価項目	評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
・防災に対する体制は整備されているか	3

① 課題

施設の老朽化

② 今後の改善方策

移転計画を進めていく。

③ 特記事項

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
・学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

優秀な留学生の獲得

② 今後の改善方策

留学生に魅力のある学校として募集活動を行う。

③ 特記事項

(8) 財務

評価項目	評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるのか	4
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

コロナ禍の影響からの脱却

② 今後の改善方策

留学生が増加傾向にあり、募集目標を達成していく。

③ 特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
・自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

情報セキュリティの充実。

② 今後の改善方策

引き続き、職員研修の場を設け個人情報管理のあり方を再確認する。

③ 特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	2

① 課題

留学生の地域・社会との融合

② 今後の改善方策

地域・社会との融合を模索していく。

③ 特記事項

(11) 国際交流(必要に応じて)

評価項目	評価
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

昨年に引き続き、国際交流を深めるため、日本語学校へ出張講義を行う。

5. 重点目標達成に関する自己評価

1) 中退者ゼロ。

* 昨年度より減少したが、ゼロは達成できなかった。

2) 就職率100%

* 昨年度とほぼ同じで、100%は達成できなかった。

3) 募集目標 160人

* 目標を達成したが、日本人がゼロになった。